

YMFG NEWS RELEASE

2020年5月13日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

「新型コロナウイルス対策支援ファンド」の出資について 【西瀬戸パートナーシップ協定共同施策】

山口フィナンシャルグループ（社長 吉村 猛）と愛媛銀行（頭取 西川 義教）は、「新型コロナウイルス対策支援ファンド」（以下、「本ファンド」という。）への共同出資に合意しましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、山口フィナンシャルグループからのファンドへの出資は、子会社である山口銀行（頭取 神田 一成）、もみじ銀行（頭取 小田 宏史）、北九州銀行（頭取 嘉藤 晃玉）からの出資を予定しています。

記

1. 本ファンドについて

本ファンドは、本年1月に締結した愛媛銀行との「西瀬戸パートナーシップ協定」に基づいたファンド連携第1号事案となります。

【ファンド概要】

名称	新型コロナウイルス対策支援ファンド投資事業有限責任組合
投資対象	新型コロナウイルス感染拡大や外出自粛に伴う売上減少により、財務体質の悪化が発生している地域の事業者について、資金・財務の両面から支援を行います
ファンド規模	30億円
設立日	2020年5月（存続期間10年間）
無限責任組合員	山口キャピタル株式会社

2. 設立経緯

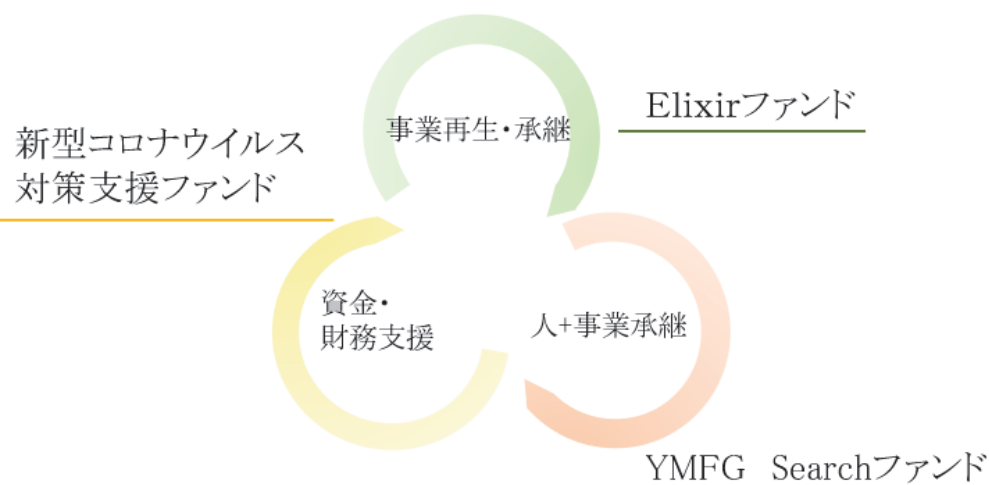
山口フィナンシャルグループは、2013年から約7年間にわたり、事業再生ファンド（総額40億円）の運営を通じ、中小企業へ当社社員を取締役として派遣するなど、伴走型の支援を行ってきました。

また、能力のある若者に地域中小企業の経営を引き継ぐサーチファンドを日本で初めて運営するなど、中小企業の経営資源を根本から支えるハンズオン支援を展開しています。

この度、愛媛銀行と連携して、資金繰り支援を目的とした本ファンドを設立することで、新型コロナウイルスにより事業継続に支障が生じている事業者の支援を充実させます。

今後、西瀬戸パートナーシップの連携を強化するとともに、エクイティを活用した、地域価値の向上に取り組んでまいります。

地域事業者を支える YMFGファンド ラインアップ



Elixirファンド

ファンド総額	10億円
機能	抜本的な「事業再生」から「事業承継」まで幅広いニーズに対応することが可能です
特徴	社外取締役の派遣、株式出資による伴走型事業再生を行い、事業改善を支援いたします 円滑な事業承継を促進するためのエクイティ支援をご提案いたします

YMFG Searchファンド

ファンド総額	10億円
機能	サーチャー（若手経営者候補）が後継者不在企業の経営者となり、円滑な事業承継を実現いたします
特徴	地域の承継課題を解決し、若者に経営者というキャリアパスを提供する、日本初の事業承継モデルです M&Aと違い、雇用や地域との繋がりを保ち、企業文化や社風の承継を図ります

新型コロナウイルス対策支援ファンド

ファンド総額	30億円
機能	新型コロナウイルスにより影響を受けた、「資金繰り」と「財務改善」の両面を支援いたします
特徴	売上減少等により不足した資金繰りを「資本金」という新しい形で後押しします 資本金を増強することにより、自己資本比率を高め、対外的な財務信用力が向上します

以上

【本件に関するお問合せ先】

山口フィナンシャルグループ 投資共創部 伊藤・藤本
TEL：083-223-3582